

21世紀 COE 次世代ユビキタス 情報社会基盤の形成

第二回 自律的移動支援プロジェクト

場所に情報をくくりつけるという基本コンセプトの元に、状況に応じた適切な情報やサービスが自動的に呼び出せるという国土情報インフラを作る。それを
目指した「自律的移動支援プロジェクト」を実例として、ユビキタス情報社会
を目指しての技術設計と制度設計の関係、技術開発やプロジェクト推進の新しい
形について考えるシンポジウムを行います。ぜひお集まりください。

■日時

平成16年11月16日(火) 14:00~17:00

(13:30~ 受付開始)

■会場

東京大学大講堂(安田講堂)

■住所 〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学本郷キャンパス

■主催 東京大学大学院情報学環・学際情報学府学際情報学専攻
国土交通省

■申し込み方法

氏名・所属・連絡先をご記入の上、以下の電子メールアドレスでお申し込みください。

なお申し込みの受け付けのお返事はいたしません。定員が超過しお断りする時のみご連絡いたします。

申し込み先 : coe-symposium@sakamura-lab.org

※会場には駐車場はございませんので、車での来場はご遠慮ください。

自律的移動支援プロジェクトの推進

ユニバーサルデザインのまちづくりに向け、誰もが安心して快適に移動できる環境をつくりあげる
ITを活用し、「いつでも、どこでも、だれでも」が移動時に必要な情報を利用できるシステムを構築
関係省庁との連携のもと、民間活力を最大限活用して実証実験を実施し、官民が共同して参画できるシステム仕様等を策定

社会のニーズ

安心して移動できる環境整備

- ◇高齢者、障害者等の社会参画機会の確保
- ◇観光客の受入環境の整備

技術のシーズ

ITの急速な進展

- ◇ICタグ等の情報発信機器の小型化、低価格化、高機能化
- ◇携帯電話の普及、ブロードバンド環境の整備

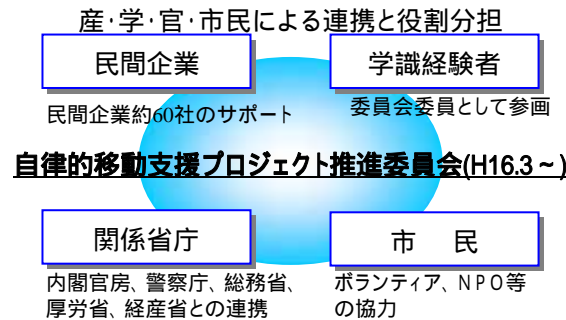
ITの活用によるハードソフトの一体化

場所が話しかける新しいサービスを実現

身体的状況に応じて移動経路、交通手段、目的地等の情報を必要な形でリアルタイムに提供



関係機関等との連携のもとオープンな環境でつくりあげる



オープンなシステムでつくりあげる

実証実験を積み重ね技術を研鑽

汎用性・拡張性のあるシステム

民間等サービス創出

国際標準(Global Standard)をめざす

わが国の最先端技術を世界に発信

◇スケジュール

H16年度

情報提供項目等システム検討
現地検証(神戸)

H17年度

支援システムの検証
仕様の策定

ユニバーサルデザインのまちづくり

逐次各地に展開